

商業観光部会のキーワード

◎3年後のあるべき姿

「地域資源を活用した特産品」「ここにしかない美味しいもの」「食を中心としたまちづくり」「外貨を獲得」「知名度アップ」「域内総生産額アップ」「魅力ある働く場」「外国人や他地域の人が流入する」

■お客さま

- 消費額が少ない
 - 少子高齢化による客数減
 - 団体旅行から個人旅行へのシフト
 - 滞在時間が短い
 - 大型店舗との競合
- 受け入れ体制の課題
 - 二次交通の課題
 - 周遊が少ない

■商品・サービス

- お金が落ちる仕組みが不十分
 - 地域資源を生かした体験の場がない
 - 地産地消の仕組みが不十分
 - お土産品不足
- ブランディング不足
 - 恵那市のイメージがない
 - ここにしかないものは何か
 - 最新情報の発信が不十分

■担い手

- 従業員の課題
 - 若者の担い手不足
 - IT知識不足
 - 人材育成する従業員不足
- 産業全体での課題
 - 農業などとの連携不足
 - マッチングの機会不足
 - 大学などとの連携不足

恵那市産業振興ビジョン検討部会ワークシート(商業・観光部会)

分類	現状と課題	
	市の現状と課題の認識(マクロの視点)	委員の現状と課題の認識(ミクロの視点)
お客さま	<ul style="list-style-type: none"> ●観光入込客数は増加傾向にある。 ●大人の旅行が人気となっている。 ●東海地方からの旅行者が増加している。 ●少子高齢化が進み、市内マーケットは縮小している。 ●外食や飲食は市外で消費する割合が大きい。 ●周遊が少ない。 ●道の駅の客数が伸び悩んでいる。 ●関東や近畿からの旅行者が減少している(東海地方以外での知名度が低い) ●交通網発達による通過型観光が多く、滞在時間が短い。 ●宿泊が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客の確保が困難 ・顧客が高齢化しているが、なかなか若い顧客の取り込みが難しく、人口減少に伴い顧客の確保が困難。 ・デフレのため、お金を使わない。宴会が少ない。 ・アジアの団体客は今後小グループにシフトされていくだろう。客も減少。 ○滞在時間が短い ・観光客は増加しているが、一時的な滞在が多い。宿泊でも宿泊するだけでその後、近隣の観光地へ行ってしまう。 ・ネットの口コミにより、遠方からそのために来る人がいるが、そこだけで他へは寄らない。 ○交通手段の課題 ・その場所へ移動する手段が乏しく、次の場所へ繋がって行かない。周遊バスが欲しい、駅からの二次交通が課題。 ・お客様は車を利用し買い物に行く事が多いが、商店街等は駐車場がない。 ○大型店舗との競合 ・中津川市内に出来た大型店舗に、中津川市から来ていた顧客が取られている。 ○その他 ・市職の給与を地域通貨で支払い、地域通貨を使用することで循環をよくする。 ・安心安全のである信仰宗教団体を誘致する。観光客は一時的だが、団体を誘致することにより滞在する人が増える。 <u>○滞在時間が短いため、消費額も少ない。</u>
商品(資源)・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●温泉、豊かな自然、棚田など農村風景(日本の美しさ)、栗きんとんや五平餅などの特産品、歴史の町並み(タイムスリップ)など資源が豊富にある。 ●道の駅の集客力が高い(再掲)。 ●文化財(史跡)が多い。 ●栗きんとんなど和菓子を始め、新商品やサービスの開発が行われている。 ●体験プログラムなどの開発が行われている。 ●恵那峡再整備、大正村浪漫亭リニューアル、SL運行計画など資源活用が進んでいる。 ●ブランド商品が不足している。 ●お客様を楽しませる工夫が十分でない。 ●インターネットの普及でモノを売ることが難しくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お金を落としてもらう仕組みが不十分 ・客単価が低く、上手くお金を落としていける仕組みを考える必要がある。 ・神秘的なところ(笠置のベログラフなど)、体験プロジェクトを売り出すとよい(1日滞在できるような) ・地元の飲食店が知られていないのと、少ない。 ・<u>ランチができる飲食店やカフェが少ない。</u> ・消費額が大事 ○地産地産が出来ていない ・地産の物を使用したいが、なかなか町内だけではそろえられない。 ・一部の事業者の消費額が多だけで、その他のところまでは届いてない。 ○原材料費が高騰 ・原材料の値段が、TVなどの影響で高騰し、ブームが過ぎても下がらないことが多く、それが商品の値段に影響する。こういった仕組みを変えて欲しい。 <u>○食と美を繋げる商品の開発が必要</u> <u>○地域資源を活用した体験の場が必要</u> <u>○お土産がない</u> <u>(強み)6次産業化の取り組みで、ここにしかない商品開発ができる。</u> <u>(強み)創作料理</u> <u>(強み)食材だけでなく、地元の素材を使う可能性</u> <u>(強み)少人数から多人数のツアーまで楽しめる体験イベント</u>

<p>商業・観光の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●製造業と農林水産業は地域外から稼いでいる。 ●「飲食店」「飲食料点小売業」などの雇用が多い。 ●観光と関連性が深い食料品業、小売・卸業、サービス業は域外から買っている。 ●観光と関連産業の連関が少ないため、観光による経済波及効果を十分取り込めていない。 ●第3次産業の付加価値が低い。 ●事業者が減少している(飲食店やお土産店が減少している)。 ●創業比率が低い。 	<p>○ブランディング不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避暑地的に思っていたがそうでもなく、水がきれい、空気がうまいも全国に沢山ある。それだけではダメ。 ・恵那市の事が一言で伝えられない、イメージしにくい。 ・飛騨牛の元であることが知られていない。 ・ここでしか食べられない、おいしい食事処を増やす。 <p>○PR不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外への営業資金があれば行きたい。 ・おばあちゃん市は、恵那市の西の玄関であるため、市内観光を案内するコンシェルジュがいるとよい。 ・看板では追記や更新が必要となっていく。 <p><u>(強み)ロケ地としての話題性</u></p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画整理等で大型店が市内へ来たたら関税をかけて欲しい。 ・市の事業は、市内発注で。 <p><u>○情報発信が少ない</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板などの老朽化
<p>担い手</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各地域で商店街振興などの取り組みが行われている。 ●広域連携による取り組みが始まっている。 ●後継者不足が課題となっている。 ●多様な関係者を巻き込んだ観光地づくり体制が十分でない。 	<p>○担い手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業・廃業者が多い。 ・学生の働く場所を出したいが、学生がいない。 ・若い人が市外へ出て行ってしまふことにより、地域等の役割分担の負担が多い ・地元の人を雇用しようと働きかけているが地元で働きたい人がいない。 ・ITに関し1人で行っている為、助けてもらう人がいると良いと思うが、資金的に厳しい。 ・ITに関する知識不足。 ・人を雇うことにより人材教育をする人が必要だが、人材教育に人を取られてしまうと業務に支障が出る。 ・若い人の意見を聞かない。 ・地元の事を考えていない人が多い。 <p>○横の連携不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業等との横の繋がりが欲しい。 ・同じ思いの人との繋がりがほしい。 <p><u>○大学・専門学校との繋がりに</u></p> <p><u>(強み)地域住民を巻き込んだ取り組み</u></p> <p><u>(強み)高齢者の活用</u></p>

* 下線・斜体部分は、個別ヒアリングとアンケートで出た意見